

会報 京都マイコン研究会

第76号

(通算93号)

1993年11月1日 発行

発行人 圓口佳昭

トピックス or コース

第3回

情報リテラシシンポジウムに参加して

第3回情報リテラシシンポジウムへの参加は加藤、岩井、圓口の3名でがっちり交流懇親会にも参加しました。マイコンクラブ対象というより、経営戦略と企業内教育という内容でしたので、通産省のソフトウェア産業の現状と人材育成という点での情報処理試験の見なおしは、参考になりました。他は、企業内での話しですごいな～という感じで、最後の大川先生の話でウィンドウNTはすごいな～という感想を持ったところです。

(圓口)

ある学校の懇談会にいった時の話。

生徒の親が生徒にパソコンは学校にはあるのかと聞けば、生徒はありませんと言いました。

だが、先生に聞いたところパソコンは学校に在りますと言われました。

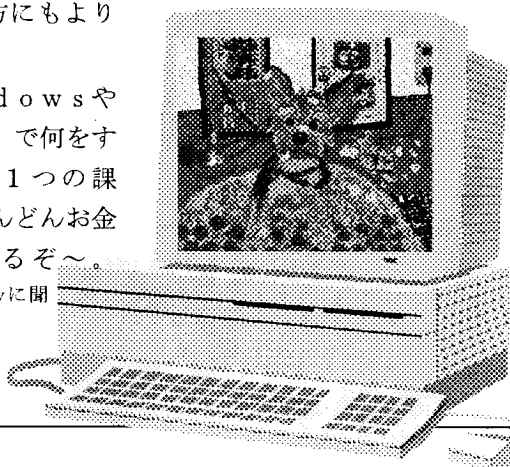
そこで、くわしく聞いたところFMTOWNSでした。

子供達には、それはパソコンとの認識ではなかったようです。

CD-ROMなどでの動画やグラフィックなどはビデオかゲーム機に思っているのでは、教える側の伝え方にもよりますが。

WindowsやMAC、で何をやるかも1つの課題、どんどんお金がかかるぞ～。

(Tomopyに聞いて。)



会告 !!

1. 10月2日 (PM.6:30) 例会 場所 大山崎ふるさとセンター

10月例会参加氏名

若林、溝口、中西洋一、若井、岩井、河原、中辻、上田、増田、圓口、

の10名でした。

2. 内容

6:30~7:00 マイコンサロン

7:00~8:30 MS-Visual Basic

8:30~9:00 質問その他

★ 次回例会

開催日 11月6日(土)

場所 大山崎ふるさとセンター

開催時間 PM.6:30~

新規入会者のお知らせ

武田 計子 さん

第21回

パーソナルコンピュータ利用技術認定試験

「パソコン認定試験」が実施されます。京滋地区の京都試験会場の監督を京都マイコン研究会が会場の試験官として、次世代を担う人の一顧をお願いいたします。

記

会場：中小企業会館

日時：12月5日日曜日(試験時間10:00分)

集合時間 当日8:30分に会場に必着

委細は11月例会にてお知らせいたします。

プロフィール

No. 2

かとうじゅんいち
加藤純一

私が、マイコンに興味を持ったのは、20年程前設置された、ミニコン研究分科会の事務をする事になり、それが、昭和52年より、ミニコン・マイクロコン研究分科会となり、勉強会だけでなく、見学会、展示会も開催。展示会では、今から見れば馬鹿みたいなゲームが展示してあり、面白く自分にも出来そうな気がして、54年11月に発売されて間もないPC-8001を入手。その間、買うのを迷った機種にシャープのMZ? (クリーンコンピュータ)、タンディ、ペット等有りましたが、色が付くのでNECにしたのですが、予算の関係でモニターは、グリーン、結果として色無しとなりました。

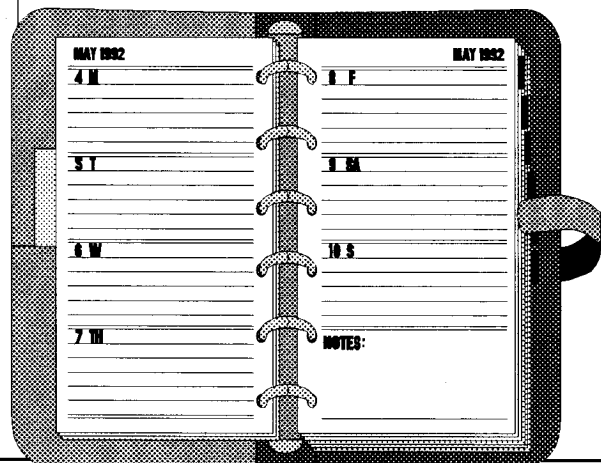
もう一つ興味を持った出来事がありました。それは、マイコンクラブ機関誌が関係団体として、事務所に送られて来ていたので、それとはなしに見ていた中で白田ゆかり(?)さんのプログラム電卓で素数を見つけるプログラム(INT関数を持たず、127ステップしかない電卓で如何するか)を考える記事が載っていました。私の持っていた電卓だったので、考えてみることにしました。結果オーバーフローでINTになることがわかり、80ステップ弱で出来、さっそく応募し、2ヵ月後の機関誌に掲載され、記念品を戴きました。それを機会にマイコンクラブに入会することになったのです。

また、圓口さんからのお誘いがあったのもこの頃で、熊野神社の京都教育文化センターで、初めて参加したと思います。

一方、マイコンは買ったものの、ゲームだけでは面白く有りません(BASICで書いた)自分の仕事に使うことにし、給与計算、講演申込の整理などやってみました。給与計算では、2進計算のため1円台が合わない失敗があり、「.00...01」を足し、正数化することに気がつきました。講演会申込整理では、当初テープで「600ボー」で記録されていて、計算では数分で終わるはずが、1時間テープがなくなっても終わらず、1記録に30秒も掛かっていることがわかりました。この頃より、関

西マイコンクラブにも参加(仕事の関係で)し、PCでの、BASIC処理について、また機械語処理について興味を持ちました。

関西マイコンクラブでは、展示会でのアンケートを処理することを提案。プログラムは、大野君を中心とする関西マイコンクラブの幹部。漢字が使える機種(マイクロ8)借用により、数年間、システム制御展、NECA展、その他で事業として、使われました。これを機会にFDD(320KB、2ドライブ)を購入。ランダムファイルを多用、講演会申込処理をする事になります。ここで高速ソーティングが必要になり勉強。インデックスファイル作成、インデックスファイルの有り無しを知るために、OPENし、エラーが出れば、新規に作成するルーチンを入れるなど種々改良していたが、漢字が使えないため、だんだん離れて行きました。6年程前か今の機種を使っておりますが、自宅持ち帰り仕事用で、ワープロ、データベース(会員、委員会、DM)等で、何かに挑戦するという意欲がなくなってきております。この頃何もしていないので古い思い出を書きました、記憶のハッキリしないところもありますが、お許し下さい。本会には迷惑でしょうが、何か刺激なることが得られればと思って参加しております。



第5回 MS Visual Basic プログラミング入門

会報74号に出題した下記の問題の解答と解説を致します。このプログラミングの方法は、幾通りも考えられます。

問題1. FORMをCRT画面の半分位の大きさに広げ、そこに「京都マイコン研究会」と表示させる。更に、文字ホントを「ゴシック」とし、文字色を黒以外に指定する。更に、背景色も変更する。
このプログラムを起動したら、5秒後に文字が表示され、約20秒経過したら画面から消す。

《解答例》 コーディングする手順を説明する。

1. 「新規フォーム」を開きます。(ツルバの左端をマウスでクリックする)
2. 「Project」の窓の「コード」の表示」をマウスでクリックする。
3. 「コードウインドウ」の「オブジェクト」の窓から「(general)」をクリックして次のステートメントを書き込む。

```
Dim Alarm As String
Dim Xflag As Integer
```

command

4. 次に、画面のフォーム「Form1」をマウスでクリックする。そして、「ツールボックス」から「コマンドボタン」をマウスでクリックしてフォームの下半分の適当な位置へ移動し、マウスをクリックする。そこで、適当な大きさにすると四角のボタンが出る。
5. 同様に、「ツールボックス」から「ピクチャーボックス」をマウスでクリックしてフォームの上半分の適当な位置へ移動し、マウスをクリックする。そこで、横長の長方形の箱の適当な大きさにする。
6. 次に、「ツールボックス」から「タイマー」をマウスでクリックしてフォームの下半分の適当な位置へ移動し、マウスをクリックする。そこで、適当な大きさにする。
7. 更に、「ツールボックス」から、もう一つ「タイマー」をマウスでクリックして、先と同様に配置する。
8. 「コードウインドウ」の「オブジェクト」の窓から「Form1()」をクリックして次のステートメントを書き込む。

```
Sub Form_Load ()
    Timer1.Interval = 2000 '発生間隔を設定します。
    Timer2.Interval = 2000
    Picture1.BackColor = &H8080FF
    Picture1.FontName = "MS ゴシック"
    Picture1.FontSize = 24
    Command1.Caption = "END"
End Sub
```



9. 「コードウインドウ」の「オブジェクト」の窓から「Timer1」をクリックして次のステートメントを書き込む。

```
Sub Timer1_Timer ()
    Picture1.Cls
    Picture1.Print "京都マイコン研究会"
    Timer2.Enabled = True 'タイマー2の動作開始
    Xflag = 1
    Timer1.Enabled = False 'タイマー1の動作停止
End Sub
```

10. 「コードウインドウ」の「オブジェクト」の窓から「Timer2」をクリックして次のステートメントを書き込む。

```
Sub Timer2_Timer ()
    Picture1.Cls
    Timer2.Enabled = False
    Timer1.Enabled = True
End Sub
```

11. これで、解答終了で、「実行(R)」をマウスでクリックして「スタート」すると、2秒ごとに文字が表示したり、消えたりする。

12. 出題の内容通りに、文字の表示時間にセットするには、上記の「Form_Load()」に記述したタイマー・インターバル(発生間隔)を5000と20000に変更すればよい。

以上、解説を終わります。皆さん、試して下さい。思ったほど難しくなく、やさしいでしょう。さて、問題2の模範解答をお待ちしています。締切は、11月24日までです。応募者にはレポカードを進呈。

RAMDISK.SYSとRAMDRIVE.SYSの説明

10月例会で、岩井さんから発言があった「RAMDRIVE.SYS」の機能について誤解があったようなので、日電版Windows3.1機能ガイドと日電版MS-DOS5.0ユーザーズマニュアルから引用して簡単に説明します。詳しくは前述の図書を参照下さい。

1. RAMDISK.SYS

このドライバは、MS-DOSのインストールDISKに付属しており、メイン或は、EMSメモリにFD(700KB・ディスク)と同じメディアのDISKをメモリに置くことが出来るデバイスである。従って、オプションの指定によっては、メイン・メモリに置かれて実行するAP(アプリケーション)の大きさによっては、コンピュータが嫌がることもある。

このドライバを使うときは、EMS.SYSか、EMM386.SYSとメインメモリの増設か、拡張スロットへメモリ増設して、組み合わせるようになる。

2. RAMDRIVE.SYS

このドライバは、MS-WINDOWSのインストールDISKに付属しており、コンピュータ本体内部に増設したメモリ(拡張スロットに入れたメモリ・ボードは対象外)に対して使用可能となる。このデバイスも前述の機能と同じ動作をする。メディアは何処に置かれるかと言えば、メイン・メモリの上位バイトの場所を占有する。

このドライバを使うときは、HIMEM.EXEと組み合わせて使うことになる。先のEMS.SYSか、EMM386.SYSを使う必要はない。RAMDRIVE.SYSを使えるのは、MS-WINDOWSのインストールDISKを手に入れた人の特権だけで、且つ、メイン・メモリを多く積んだマシンに限られる。

以上。

(注)RAMDRIVE.SYSを使うことにより、メイン・メモリ640KB部分への常駐デバイスや辞書占有メモリが少なくなって良かったとのことであったが、上記のように、RAMDISKをどのメモリ管理デバイスを利用するかの違いのみである。

(Tomopyy)

パソコンリテラシ9・10月号の一言感想

1. 9月号から

「主婦から見たパソコン通信」を読んで小生と同じ道を辿られたことに共感し、当時を思い出しました。大手のBS局でも大勢の主婦の方がアクセスされ、この世界には男女機会均等法など無関係で皆さんのめり込んでおられるようです。小生は、ハードを専らROMしてはいますが、パソコン通することにより、画像写真、絵画、音楽(MID)などの分野のファイルのDLしたり、質問を通じて豊富な知識が得られたことが、この趣味の世界を広めることが出来た。皆さん、是非、パソコンに参加しましょう。(唯、電話代金の支払いが多くなるのが、この世界の難点である。)

2. 10月号から

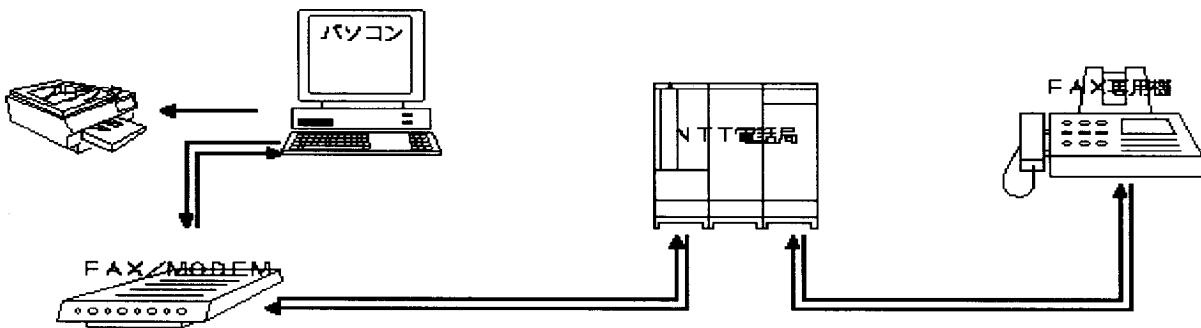
「パソコン通信便利ソフトウェア」から、LHA(圧縮書庫管理ファイル)の解説が丁寧に紹介されていて、入門者には最適な記事であった。最近では、雑誌の付録のディスクにも使われており、パソコンには必須のツールとなった。パソコン通信が始まった当初は、解凍、圧縮するには、それぞれの実行プログラムが必要であった。一つの実行プログラムで圧縮・解凍の両方を兼ね備えていたことに加えて多彩なオプションがあることから、あっと見る間に国内を制し、その後、欧米へも広がって最近では、海外のソフトに付属して里帰りすることを友人に聞いた。

この高圧縮ファイルの出現に加えて忘れてならないソフトがある。拡張子ISHである。現在では、BS局のバイナリ保存(文字列しかUP出来ない局があった)や通信回線、モデムなどの品質向上でバイナリ・ソフトをDLしても受信障害が無くなったので、現在ではあまり使われていないが、当時としては貴重な通信便利ソフトウェアであった。これも日本人によって作られた独創的なソフトである。

(Tomopyy)

MODEM/FAXを買い替えないように

最近、各社のパソコン雑誌や広告に「MODEM/FAX」が盛んに紹介されている。このモデムは、専用のFAX送受信装置がなくても、パソコンにFAX専用送受信のAPを実行しておけば、パソコン、もしくは、FAX専用機へ送信、または逆に受信も出来る機能を持っている。この接続を図解すると次のようになる。



このモデムの詳しいプロトコルの技術的な解説は専門誌を参照して戴くとして、「MODEM/FAX」を購入するときに必要な規格を次に列挙する。

FAXデータ機能 CCITT V.29 以上。データデータ機能 CCITT V.32 以上。

最近の低価格「MODEM/FAX」は、CCITT V.42 を搭載している。これらのモデムとパソコン間の転送レートは、2400bps または、9600bps であっても、モデムから相手へのFAX送信速度は非同期でFAX専用機の転送に合わせて動作する。最近では、19200bpsが一般的に使われている。そこで、「MODEM/FAX」購入時に「FAXコマンド機能」が記載されている、下記の仕様の製品を購入されることを奨めます。

- CLASS 1 : 変調動作を行う。(このタイプは避けたほうが、よい)
- CLASS 2 : T.30(FAXプロトコル)動作もモデムが行う。
- CLASS 3 : T.4などデータ圧縮/伸張もモデムが行う。

現在、MS-Windows 環境のもとでは、AP実行画面で印刷コマンド状態でプリンタ機種を「MODEM/FAX」を指定すると、FAX送信用APが自動起動してFAX番号を指定すると送信を行ってくれるのです。DOS版の有名なAPではWindowsのような機能が無い。将来は、機能が付加されるであろうことを期待して、解説を終わります。

(Tomopyy)